

平成25年度事業計画書

対象期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

平成25年度は助成事業への応募が増加しており、申請内容についても一層の科学技術の振興への寄与が期待できることから、当財団の収益予想と公益財団法人に求められる収支相償を考慮し、次年度の活動を踏まえて予算編成を行った。

事業活動としては、近年青少年の理科離れが進んでいることから「科学教育の普及・啓発助成」を重点課題として位置づけ、研究助成等とのバランスを考慮しつつ活動を行っていく。具体的には、助成成果が特に優れた活動に対してその活動成果を広く他の方々に知らせ、情報を活用して頂くことを目的に、その活動成果を書籍として刊行するノウハウの提供と書籍刊行費用の助成について引き続き行っていく。

1. 助成&表彰事業

(1) 第27回研究費の助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究であって、先駆的独創的にして、わが国の科学技術の振興に貢献することが充分期待され得るもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（設備備品費、消耗品費、国内旅費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：候補者は、本財団役員及び評議員、またはこの法人で適当と認めた化学系学会等の推薦による。

(2) 第35回国際交流助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域において、次の国際研究交流に貢献することが期待されるもの。
 - ① 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められ招聘される者。ただし、国公費による出張者を除く。
 - ② 国内で行われる国際研究集会。
 - ③ 国外で行われる国際研究集会。
- (ii) 助成金額：
 - ① の場合：1件30万円（渡航運賃）までを限度とする。
 - ② の場合：1件50万円（会場費、印刷費、国内滞在費）までを限度とする。
 - ③ の場合：1件50万円（滞在費、印刷費、招聘費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：「研究費の助成」の場合と同じ。

(3) 第27回研究交流促進助成事業

- (i) 助成対象：産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関し、産学官等の研究交流促進が図れるもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（会議開催費、講師招聘費用費等）までを限度とする。
- (iii) 募集：原則公募による。

(4) 第8回科学教育の普及・啓発助成事業

- (i) 助成対象：科学技術や理科に興味を持った青少年を育成することを目的として、科学

教育の普及・啓発が期待されるもの。

(ii) 助成金額：1件30万円（会議費、印刷費、教材費、備品費、旅費、講師料等）とする。継続助成は原則3年。

(iii) 募集：原則公募による。

(5) 表彰事業

I. 第24回向井賞の表彰事業

(i) 表彰対象 科学技術の振興に関する特に優れた研究業績。

(ii) 表彰内容 1件：賞状ならびに賞牌、副賞（100万円）。

(iii) 推薦 本財団役員及び評議員、または、この法人で適当と認めたものによる。

II. 第22回向井記念科学講演会の開催

科学技術の振興に貢献することを目的とし、向井賞受賞者の講演を中心に研究助成対象者の成果発表の講演会を開催。

2. その他の事業

(1) 神奈川県青少年科学作文コンクールにおける表彰

(2) MOA 美術館川崎市児童作品展における表彰

(3) 科学教育の普及・啓発助成対象者の中で特にその成果を書籍として刊行することで科学教育の普及・啓発に役立つと判断される対象者への成果をまとめた書籍の刊行ノウハウの提供と刊行費用の助成

3. 事業運営のため、次の各種集会を行う。

(1) 理事会 4回（5月2回、12月、3月）

(2) 評議員会 4回（5月、6月、12月、3月）

(3) 選考委員会 1回（助成部門、表彰関係）（2月）

(4) 選考部会 随時（助成部門）

(5) 企画・運営会議 随時

(6) 表彰・贈呈式 1回（5月・川崎）

(7) 記念科学講演会 1回（5月・川崎）

以上